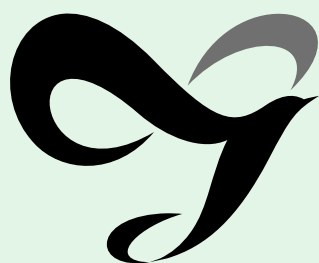


令和3（2021）年度

総合型選抜 学生募集要項

令和2年8月7日変更版

※7月20日公表版からの変更箇所を赤字で記載しています。



鳥 取 大 学

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、今後、選抜方法や選抜期日等を変更する場合があります。その場合、対応をホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

総合型選抜について

鳥取大学は、「知と実践の融合」を教育理念に掲げ、教養豊かな人材の養成や地域社会の産業、文化等への寄与を教育目標にしています。

このため、入学者選抜においても、総合型選抜を採用して、多様な才能を持った意欲ある人を選抜します。

■目 次

1. 募集人員・出願要件・選抜方法等	1
2. 選抜方法と求める能力の関連	3
3. 出願手続	5
4. 第1次選考	9
5. 第2次選考	9
6. 合否判定方法	11
7. 合格発表	11
8. 入学手続等	12
9. 障がい等のある入学志願者の事前相談	13
10. 入学志願者の個人情報の取扱い	13
11. 一般選抜等への出願	13
12. 入学前教育	14
13. 学生生活案内	15
14. その他	16
15. 参考資料	17
第2次選考試験場案内	17
入学に必要な学部別納入経費（予定）	18
ノート型パソコンの必携について	19

■添付書類

- ・志望理由書（様式1）
- ・自己推薦書（様式2 No.1～No.2）

総合型選抜スケジュール

出 願 期 間	令和2年 9月15日(火)～18日(金)
第1次選考面接	令和3年度総合型選抜では実施しない。
第1次選考結果発表	令和2年10月 6日(火)
第2次選考	【地域学部】 令和2年10月17日(土)～18日(日)
	【工学部】 令和2年10月17日(土)
	【農学部】 令和2年10月17日(土)～18日(日)
合 格 発 表	令和2年11月 2日(月)
入 学 手 続 期 限	令和2年11月 9日(月)

文部科学省の定める「令和3年度大学入学者選抜実施要項」において、総合型選抜の出願受付開始時期が当初予告された日程から変更されたことを受け、鳥取大学令和3年度総合型選抜における出願期間は、9月15日(火)～18日(金)に変更します。また、第1次選考における個人面接は実施せず、第2次選考は、入学者選抜概要に示したとおり実施します。

<新型コロナウイルス感染症の感染拡大並びに不測の事態が発生した場合の対応について>

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況並びに大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

【鳥取大学入学試験情報ホームページ】

PCサイト：<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト：<https://daigakuje.jp/toridai/>



1. 募集人員・出願要件・選抜方法等

地域学部

実施学科等	地 域 学 科		
	地域創造コース	人間形成コース	国際地域文化コース
募集人員※	10人	4人	6人
趣 旨	<p>【地域創造コース】 多角的な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献できる人間の育成を目標としています。このため、志願者の適性や能力などを、様々な観点から総合的に評価する総合型選抜を実施します。</p> <p>【人間形成コース】 学習科学、発達科学、家族支援、教育福祉に関する理論的で実践的な学習を通じて、人間性に対する理解と信頼を培い、地域の教育問題の解決を図り、豊かな生涯発達を支援する力量を備えた地域のキーパーソンの育成を目指しています。このため、能力、適性、意欲、関心などを多元的に総合評価する総合型選抜を実施します。</p> <p>【国際地域文化コース】 地域に根差しながら広い世界を視野に入れて発想し行動できる人や、国内外の多様な文化や人々と積極的に交わり、異質性を理解し創造性を活かして、豊かな関係を柔軟に構築できる人の育成を目指しています。このために必要な意欲、関心、能力、適性を多様な観点から総合的に評価する総合型選抜を実施します。</p>		
求める人物像	<p>【地域創造コース】 次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。 1. 様々な視点から地域を考え、地域に暮らす人々の幸せと地域の発展に貢献したい人 2. 地域の様々な資源を効果的に活用し、地域を発展させるための提言や取り組みができるようになりたい人</p> <p>【人間形成コース】 次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。 1. 教育、保育、心理、教育福祉に高い関心を持ち、自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人 2. 地域に住む人々の学習と発達、心身の自立に関わる仕事を強く望む人</p> <p>【国際地域文化コース】 次のいずれかに該当する意欲のある人を求めます。 1. 様々な文化（言語・文学・考古・歴史・芸術など）に関心があり、文化を通して創造的な地域の発展に貢献したい人 2. 国際的感性と実践的言語コミュニケーション力を身につけて、多様な文化をもつ人々と関係を構築したい人</p>		
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、8ページ(3)の注意事項を確認してください。</p>		
選 抜 方 法 等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書及び調査書により総合判定します。また、英語の民間試験をはじめ、高難度の資格についても評価します。	
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、課題論文、スクーリング、グループディスカッション等及び個人面接を実施します。最終的な合否判定については、地域創造コースは第1次選考と第2次選考の結果を総合判定し、人間形成コース及び国際地域文化コースは第2次選考の結果を用いて総合判定します。	

工学部

実施学科	社会システム土木系学科	
募集人員※	2人	
求める人物像	<p>学科の研究・教育のうち、特に経営工学に興味を持ち、さらに次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会や政治、経済に興味があり、新聞や論説をよく読んでいる人 2. 日本だけでなく、外国の文化や人々の考え方を学ぶことに興味を持つ人 3. いろいろな事柄の仕組みについて、過去のしきたりにとらわれずに新たに創造することが好きな人 	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、8ページ(3)の注意事項を確認してください。</p>	
選抜方法等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書及び調査書により総合判定します。また、英語の民間試験をはじめ、高難度の資格についても評価します。
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、講義等理解力試験、小論文、基礎学力を問う口頭試問及び個人面接の結果を用いて総合判定します。

農学部

実施学科	生命環境農学科	
募集人員※	10人	
求める人物像	<p>生命環境農学科では、大学及び農学部の入学者受入の方針に加え、傾聴力を有し、視野を広げ、創造力を養う意欲をもった、次のような人を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 食料、環境、生命に関心を持ち、高等学校等で履修する科目の基本的な知識を有する人 2. 基礎的な科学的思考力と判断力を持ち、その多面的な向上と深化を志す人 3. 自己の能力を継続的に向上させ、乾燥地の農業や環境問題、地域資源の保全や活用、生物資源の発掘や育種、生命現象の解明や応用について主体的に探究する意欲を持つ人 4. 健全な倫理感と使命感を持ち、自身の考えを表現する力、力を合わせて活動する力を備える人 <p>【チームワーク重視型】 総合型選抜では、特に次の各号に該当する人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自ら積極的に学ぶ姿勢を有する人 2. 傾聴力を有する人 3. 協調性を有する人 	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みのある者 <p>(注) 上記3.のうち学校教育法施行規則第150条第7号による場合は、8ページ(3)の注意事項を確認してください。</p>	
選抜方法等	第1次選考	志望理由書、自己推薦書及び調査書により総合判定します。また、英語の民間試験をはじめ、高難度の資格についても評価します。
	第2次選考	第1次選考に合格した者に対して、第2次選考を行います。第2次選考では、課題論文、グループディスカッション及び個人面接（英語等の基礎知識を問う試問を含む。）の結果を用いて総合判定します。

※合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は学校推薦型選抜及び一般選抜（前期日程・後期日程）の合格者で補充します。

2. 選抜方法と求める能力の関連

地域学部

地域学科地域創造コース							
選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	創造性		
第1次選考	調査書	○			○	40	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○		英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○	—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
第2次選考	スクーリング	○	○			300	スクーリングは、地域創造に関する基礎的講義を行う。その内容を踏まえて出題する課題論文とあわせて評価する。
	課題論文	○	○	○	○	300	講義内容を素材にしたテーマについて討論を行う。
	グループディスカッション	○	○	○	○	300	講義内容を素材にしたテーマについて討論を行う。
	個人面接	○	○	○	○	300	志望理由、関心のある地域課題、高校生活等について問う。
合 計						940	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行うが、最終的な合否判定は、第1次選考と第2次選考の合計で行う。

地域学科人間形成コース							
選抜方法	求める能力				配点	備考（活用方法など）	
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性			
第1次選考	調査書	○			○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○		英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○	—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
	合 計					20	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	小論文	○	○	○		60	地域教育に関する課題文（英文を含む）を踏まえた小論文と口頭発表を行う。
	口頭発表		○	○	○	40	
	グループディスカッション		○	○	○	—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
	個人面接	○	○	○	○	60	志望理由、小論文・口頭発表を題材にした質問などを行う。
	合 計					160	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

地域学科国際地域文化コース								
選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	創造性	思考の柔軟性		
第1次選考	調査書	○			○		20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○			英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○		—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
	合 計						20	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	グループディスカッション	○	○	○	○	○	—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
	課題論文	○	○	○		○	200	文化、コミュニケーションに関する課題を出題する。
	個人面接	○	○	○	○	○	200	コース志望理由、課題論文を題材にした質問などを行う。高校での学習成績の状況については、調査書を活用する。その場で与えられる課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。なお、冒頭で自己アピールを促す。また、基礎的な英語力を問うこともある。
	合 計						400	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

工学部

社会システム土木系学科							
選抜方法	求める能力				配点	備考（活用方法など）	
	知識技能	思考力判断力表現力	主体性協働性				
第1次選考	調査書	○		○	20	高校での学習成績の状況等を評価する。	
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○		英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。	
	個人面接		○	○	—	令和3年度総合型選抜では実施しない。	
	合 計				20	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。	
第2次選考	講義等理解力試験	○	○		100	入門的な講義の受講及びその内容に関する理解力を問う試験を行う。	
	小論文	○	○		100	現在の社会的な問題に関する課題を出題する。	
	個人面接		○	○	200	志望理由書及び自己推薦書等を活用し実施する。	
	口頭試問	○	○			英語・数学に関する基礎的な学力を問う。なお、講義等理解力試験及び小論文の内容を問うこともある。	
	合 計				400	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。	

農学部

生命環境農学科								
選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲		
第1次選考	調査書	○			○		20	高校での学習成績の状況等を評価する。
	志望理由書 自己推薦書	○	○	○	○			英語の民間試験等の資格や活動経験等についても評価する。
	個人面接		○	○	○		—	令和3年度総合型選抜では実施しない。
	合 計						20	第1次選考の合格者に対して第2次選考を行う。
第2次選考	課題論文 個人面接		○	○	◎	◎	60	面接は、課題論文・出願書類を活用する。英語等の基礎知識を問う試問も含む。
	グループディスカッション				○	◎	40	試験当日に与えられるテーマについて討論する。
	合 計						100	最終的な合否判定は、第2次選考の結果で行う。

※農学部においては、◎は特に重視している項目を示しています。

3. 出願手続

(1) 出願期間 令和2年9月15日(火)～18日(金)

インターネット出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。
上記出願期間内に書類等を郵送する必要があります。

(2) 出願方法

出願はインターネット出願のみとします。

入学志願者は、上記出願期間中に本学の「インターネット出願ページ」より、インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ、なおかつ書類等を本学に郵送してください。

書類等は、**必ず簡易書留・速達で9月18日(金)までに郵送してください。**これ以降に到着した場合は、9月18日(金)以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。

書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

なお、書類等を持参する場合は、平日(9:00から17:00まで)のみ、学生部入試課(共通教育棟2階)で受け付けます。

【問い合わせ先等】

○インターネット出願登録の方法、検定料支払方法に関する問い合わせ先
(株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL:0120-202-079 (24時間365日対応)

※入試に関する質問については、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

○入試に関する問い合わせ先／書類等提出先
鳥取大学学生部入試課
〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL: (0857) 31-5061 (平日9:00～17:00)

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>



①インターネット出願登録のために事前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。（スマートフォンによってはご使用になれない場合があります。その場合はパソコンをご使用ください。）
印刷環境	出願書類等をA4用紙で印刷します。
メールアドレス及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要です。出願登録時に確認メールを送信します。 また、迷惑メール対策としてメールの受信制限を行っている場合は、確認メールが届かないことがありますので、「@e-apply.jp」を受信可能なドメインとして設定してください。
志願者本人の顔写真データ	出願には志願者本人の顔写真データ（jpeg, png, bitmap, gif）が必要です。 上半身・無帽・正面向き・無背景・カラーで、提出前3か月以内に撮影した鮮明な写真をご準備ください。ファイルは2MBまでとします。 なお、出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。

詳細は、インターネット出願ページ「事前準備」<<https://e-apply.jp/e/tottori-u/guide/junbi.html>>をご確認ください。

②検定料（17,000円）支払方法等

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行ATM（ペイジー対応）、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までです。ただし、インターネット出願登録を完了した日から4日に満たず出願締切日時（9月18日（金）17:00）になった場合は、出願締切日時までとなります。

なお、振込手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

それぞれの支払方法に関する詳細は「インターネット出願ページ」をご確認ください。

※検定料の返還について

既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (4) **第1次選考により不合格となった場合**

上記(1)～(3)に該当する場合は、必ず学生部入試課（TEL（0857）31-5061）へ連絡してください。返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。

上記(4)に該当する場合は、13,000円を返還します。返還の手続方法については、第1次選考結果を通知する際にお知らせします。

③出願書類等

志望理由書（様式1）	本学のホームページ（鳥取大学入学試験情報＞[学部入試]学生募集要項＞出願書類（様式）のダウンロード）から所定の様式を、A4サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。
自己推薦書（様式2）	自己推薦書の資格・検定欄の英語の検定に該当する者は合格証等の写しを提出してください。その他の資料等（賞状の写し、論文、写真、CD等）は提出しないでください。
調査書	<p>文部科学省所定の様式により、出身高等学校長が作成し、厳封したものを提出してください。（A4サイズの様式となっておりますが、A3サイズ（両面可）の左右に印刷してください。）</p> <p>（注） 次の(1)～(3)に該当する場合は、卒業証明書に加えて単位取得証明書又は成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等、入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。</p> <p>※単位取得証明書又は成績通信簿の写し等が提出できない場合は、卒業証明書に加えて、学校長等からの「単位取得証明書が発行できない旨の文書」を提出してください。</p> <p>(1) 「指導に関する記録」が保存年限（5年）を超えている場合 (2) 指導要録の保存年限（20年）を超えている場合 (3) 廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定試験合格者を含む。）は、当該試験の合格成績証明書を提出してください。なお、高等学校に在籍したことのある者は、在籍期間中の成績証明書を併せて提出してください。</p>
受験票等返送用封筒 （374円分の切手を貼付）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した受験票等返送用封筒宛名ラベル及び374円分の切手を貼り付けてください。
通知書等返送用封筒 （374円分の切手を貼付）	市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した通知書等返送用封筒宛名ラベル及び374円分の切手を貼り付けてください。

- （注）
- 必ず志願者本人が黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。
 - 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。（訂正印は不要）
 - 出願書類等に記入もれ、その他不備のある場合は受付しません。
 - 出願書類等受付後は、原則記載事項の変更は認めませんが、**出願書類等提出後に本人連絡先を変更した場合は直ちに鳥取大学学生部入試課に連絡してください。**
 - 出願書類等の記載内容に相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
 - 出願書類等は、受理後いかなる理由があっても返却しません。

④出願書類等の提出方法

- 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した出願書類等提出用封筒宛名ラベルを貼り付けてください。
- 上記1. で作成した出願書類等提出用封筒に③出願書類等を封入し、**必ず簡易書留・速達で9月18日（金）までに**郵送してください。これ以降に到着した場合は、9月18日（金）以前の発信局消印があるものに限り受け付けます。
郵便事情を十分考慮して発送してください。

(3) 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項

出願資格のうち、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法をお問い合わせください。

お問い合わせ先 学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学資格審査申請書提出期限 令和2年8月21日（金）17時まで（必着）

(4) 受験票の送付について

受験票は出願期間終了後、一括して発送します。9月29日（火）までに届かない場合は、必ず学生部入試課に電話でお問い合わせください。

4. 第1次選考

(1) 選抜方法

第1次選考は、書類選考のみにより行い、通常行っている個人面接は実施しません。

5. 第2次選考

(1) 科目等の実施時間及び内容等

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、選抜方法を変更（オンラインでの面接など）する場合があります。その場合、ホームページでお知らせしますので最新の情報は必ず確認してください。

地域学部

試験場：地域学部棟

学科等	試験日	時間	科目	内容等	
地域学科	令和2年10月17日（土）	10:00～11:30	スクーリング	地域創造に関する基礎的講義	
		13:00～14:30	課題論文	講義内容についての理解力、論理的表現力を問う小論文	
	令和2年10月18日（日）	9:30～12:00	グループディスカッション	講義内容を素材にしたテーマについて討論	
		13:30～17:00	個人面接	コース志望理由、関心のある地域課題、高校生活等について質問	
	人間形成コース	令和2年10月17日（土）	10:00～12:00	小論文	地域教育に関する課題文（英文を含む。）を踏まえた小論文と口頭発表
			13:30～17:00	口頭発表	
	令和2年10月18日（日）	9:30～13:00	個人面接	コース志望理由、小論文・口頭発表を題材にした質問など	
国際地域文化コース	令和2年10月17日（土）	10:00～11:30	課題論文	文化、コミュニケーションに関する課題	
		13:00～17:00	個人面接	コース志望理由、課題論文を題材にした質問など。高校での学習成績の状況については、調査書を活用する。その場で与えられる課題に関する口頭発表と質疑応答を行う。なお、冒頭で自己アピールを行ってまいります。また、基礎的な英語力を問うことがあります。	

工学部

試験場：工学部棟

学科	試験日	時間	科目	内容等
社会システム土木系学科	令和2年10月17日（土）	9:30～12:00	講義等理解力試験	入門的な講義の受講及びその内容に関する理解力試験
		13:00～14:00	小論文	現在の社会的な問題に関する課題
		14:30～17:00	個人面接・口頭試問	個人面接：志望理由書及び自己推薦書等をもとに実施 口頭試問：英語・数学に関する基礎的な学力を確認 なお、講義等理解力試験及び小論文の内容を問うことがあります。

農学部

試験場：農学部棟

学科	試験日	時間	科目	内容等
生命環境農学科	令和2年10月17日(土)		課題論文	農学などに関する課題 (第1次選考合格者にお知らせします。)
		13:00~17:00	グループ ディスカッション	試験当日与えられるテーマについての グループ討論
	令和2年10月18日(日)	9:00~17:00	個人面接	課題論文・出願書類をもとに実施。 質疑応答(英語等の基礎知識を問う試 問を含む。)

(2) 第2次選考受験上の注意事項

- ① 第2次選考試験当日は、本学の受験票を必ず持参してください。
なお、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。
- ② 第2次選考試験当日は、試験開始時刻 30 分前までに志望する学部の指示する場所に集合してください。
- ③ 試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、第1次選考結果通知の際にお知らせしますので、必ず確認してください。
- ④ 試験開始から終了までの間は退室を認めません。試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- ⑤ 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆(シャープペンシル可)、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能が有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)及び指定された物品以外の携行品を置くことはできません。
- ⑥ 携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- ⑦ 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
なお、各試験室の位置等については、試験前日の15時から、各試験場入口に掲示します。
- ⑧ 本学は、構内全面禁煙です。
- ⑨ その他学部から別途指示がある場合は、それに従ってください。

令和2年度AO入試第2次選考における選抜のポイント、面接・論文等の出題例等を鳥取大学ホームページで公開しています。ただし、令和3年度総合型選抜がそのまま行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、総合型選抜の過去問題(過去3年分)は、ホームページに掲載するとともに、平日9:00~17:00に鳥取キャンパスは学生部入試課、米子キャンパスは米子地区事務部学務課で閲覧できます。

URL <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/examination>



6. 合否判定方法

学 部	学 科 等	合 否 判 定 方 法
地域学部	地域学科	総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。 同点の場合は、同順位とします。
	地域創造コース	
	人間形成コース	
	国際地域文化コース	
工 学 部	社会システム土木系学科	
農 学 部	生 命 環 境 農 学 科	

7. 合格発表

(1) 第1次選考結果 令和2年10月6日(火)

受験者全員に、第1次選考結果を送付するとともに、鳥取大学ホームページ (<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>) に第1次選考合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃)

(2) 第2次選考結果 令和2年11月2日(月)

合格者に、合格通知書を送付するとともに、鳥取大学ホームページ (<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃)

※掲示による発表は行いません。

※電話等による合否のお問い合わせには、一切応じません。

※試験当日又は前日に、大学周辺や主要の駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

8. 入学手続等

(1) 手続期限・場所

合格者は、入学手続書類を令和2年11月9日(月)17時までに**必着**となるように「**簡易書留・速達**」として、送付してください。

来学のうえ手続される場合は、事前に電話連絡のうえ、入学手続書類を揃え、令和2年11月9日(月)17時までに、次の「入学手続場所」で手続を行ってください。(受付時間：平日9時～17時)

○送付先・入学手続場所

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学学生部入試課(共通教育棟2階)

入学手続の詳細については、合格者に別途お知らせします。

(2) 入学手続時に提出するもの

- ① 令和3年度鳥取大学総合型選抜受験票(入学手続完了後、返却します。)
- ② 入学料振込済証明書
- ③ 学生証用写真台紙(本学所定の様式(写真貼付※))
※縦4cm×横3cm。正面・無帽・肩口まで・無背景で、提出前3か月以内に撮影したもの
- ④ 卒業証明書(卒業見込みで受験した者は、卒業式後に学生部入試課まで提出してください。)
- ⑤ 上記以外の本学所定のもの

(3) 入学料等

① 入学料 282,000円(予定額)

- ・合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期限までにお振込みください。
- ・振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ・入学手続は入学料を納入し、かつ手続期限までに(2)の入学手続書類を提出しなければ完了となりません。なお、納入された入学料は、返還できません。

② 授業料 年額 535,800円 [前期分 267,900円 後期分 267,900円](予定額)

- ・納入期限は、前期は5月末日、後期は11月末日です。
- ・本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ・口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(注) 上記の入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

(4) 留意事項

- ① 総合型選抜の合格者の入学辞退は、原則として認められません。
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和3年2月22日(月)までに「入学辞退願」(様式任意)を提出し、その許可を得なければなりません。
- ② 総合型選抜の合格者は、本学及び他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)を受験しても合格者となりません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。
この場合、いずれの国公立大学・学部の個別試験を受験しても入学許可を得られません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。

9. 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和2年8月21日（金）までに、次の事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、鳥取大学学生部入試課へ提出してください。

また、上記期限後に、不慮の事故等により、配慮が必要となった者は、速やかに相談してください。

なお、本学が必要と認めた場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| (1) 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号 | (5) 受験上希望する配慮 |
| (2) 出身学校 | (6) 修学上希望する配慮 |
| (3) 選抜区分、志望学部、学科等 | (7) 出身学校でとられていた修学上及び生活上等の措置 |
| (4) 障がいの種類・程度 | (8) 日常生活の状況 |

○提出先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地
鳥取大学学生部入試課
TEL (0857) 31-5061
FAX (0857) 31-6778

10. 入学志願者の個人情報の取扱い

- ① 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、法律に基づく場合を除き、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のため行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに適切に管理します。
- ② 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード、性別、生年月日及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は一切行いません。

11. 一般選抜等への出願

本学の総合型選抜に不合格となった者は、本学及び他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜、一般選抜（前期日程・後期日程）に出願することができます。

12. 入学前教育

- (1) 総合型選抜合格者は、合格が決まってから入学まで5か月もの長い時間があります。その時間を有効に使い、大学生生活のスタートを応援するために入学前教育を実施します。在籍する学校長のご理解をいただいた上で、高等学校教育への影響を配慮しながら、2泊3日の「合宿研修」、入学センター及び合格した学部・学科がe-Learning やレポート等の提出など、生活面、学習面のサポートをします。詳細は、合格通知書とともに案内します。

※参加者の方には、合宿研修の参加費として、2泊分の宿泊費と諸経費(18,000円前後(予定))を負担していただきます。

入学前合宿研修日：11月13日(金)～15日(日)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、日程の変更または中止の対応をとる場合があります。

- (2) 工学部社会システム土木系学科では、入学後の指導の参考にするため、以下に指定した大学入学共通テスト3教科5科目について、可能な限り受験し、自己採点の結果を報告してください。

数 学：数学Ⅰ・数学A(必須)と[数学Ⅱ・数学B, 簿記・会計, 情報関係基礎]から1科目
理 科：物理(必須)と[化学, 生物, 地学]から1科目
外国語：英語(リスニングを含む)

13. 学生生活案内

(1) 学寮，民間アパート等

学寮の詳細については，学生部学生生活課学生支援係（TEL（0857）31-5058）へ，民間アパート等については，鳥取大学生生活協同組合（TEL（0857）28-1100）等へお問合せください。

※鳥取大学ホームページ参照

鳥取大学ホームページ>キャンパスライフ>学生生活サポート>学寮，アパート・マンション

(2) 入学料・授業料の減免

国の修学支援制度（令和2年4月から開始）により住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生について，日本学生支援機構による給付奨学金と併せて入学料・授業料の減免を行います。

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

(3) 国の教育ローン，提携教育ローン

① 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき，在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については，日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

② 提携教育ローン（オリエントコーポレーション）

入学料・授業料を対象にした(株)オリエントコーポレーション（オリコ）との提携教育ローンです。

オリコが保護者に代わって大学に一括納入し，毎月の返済については複数の返済プランの中から選ぶことができます。

詳細については，オリコ学費サポートデスク（0120-517-325）へお問い合わせください。

(4) 奨学金制度

人物・学業ともに優秀かつ，経済的理由により修学が困難と認められる者には，本人の申請に基づき選考の上，奨学金が貸与される制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類	貸与月額（令和2年度）	貸与期間	備考
第一種奨学金	20,000円，30,000円 45,000円（自宅通学）， 40,000円，51,000円（自宅外通学）	最短修業年限まで	無利息
第二種奨学金	20,000円～120,000円（1万円単位） から選択可	最短修業年限まで	利息付 （利率は年3.0%が上限）

② その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか，都道府県や市町村の奨学金，民間の各種育英団体による奨学金があり，大学の推薦によるものとそれぞれの公募により直接申し込みするものがあります。

詳細については，学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

(5) 学生教育研究災害傷害保険

この保険制度は，正課，学校行事，課外活動，通学中並びに学校施設内での傷害事故（ケガなど）が起きた場合の補償制度で，本学では，全員加入としています。

※農学部の学生は，学研災付帯賠償責任保険も，全員加入です。

詳細については，保健管理センター（TEL（0857）31-5065）へお問い合わせください。

14. その他

(1) 入試情報の開示

総合型選抜については、受験者の個人成績及び合格者の成績等の開示はしません。

(2) 総合型選抜に関するお問い合わせ先

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

鳥取大学学生部入試課

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

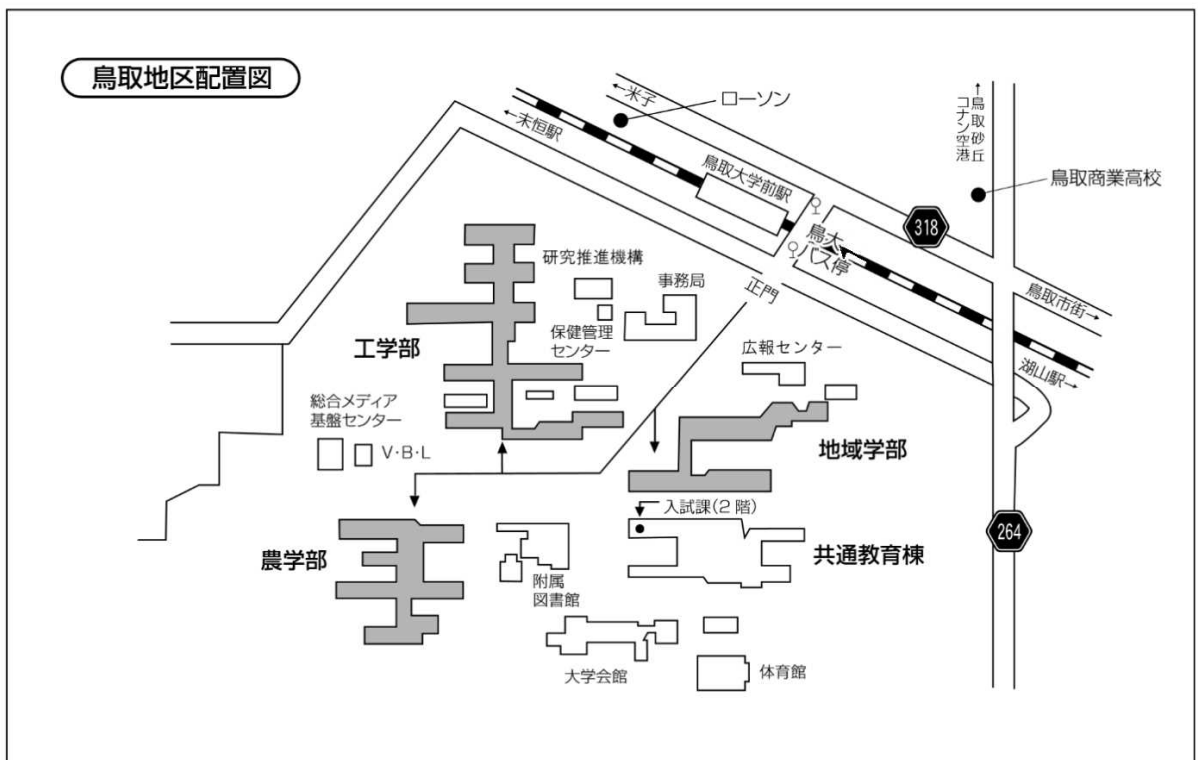
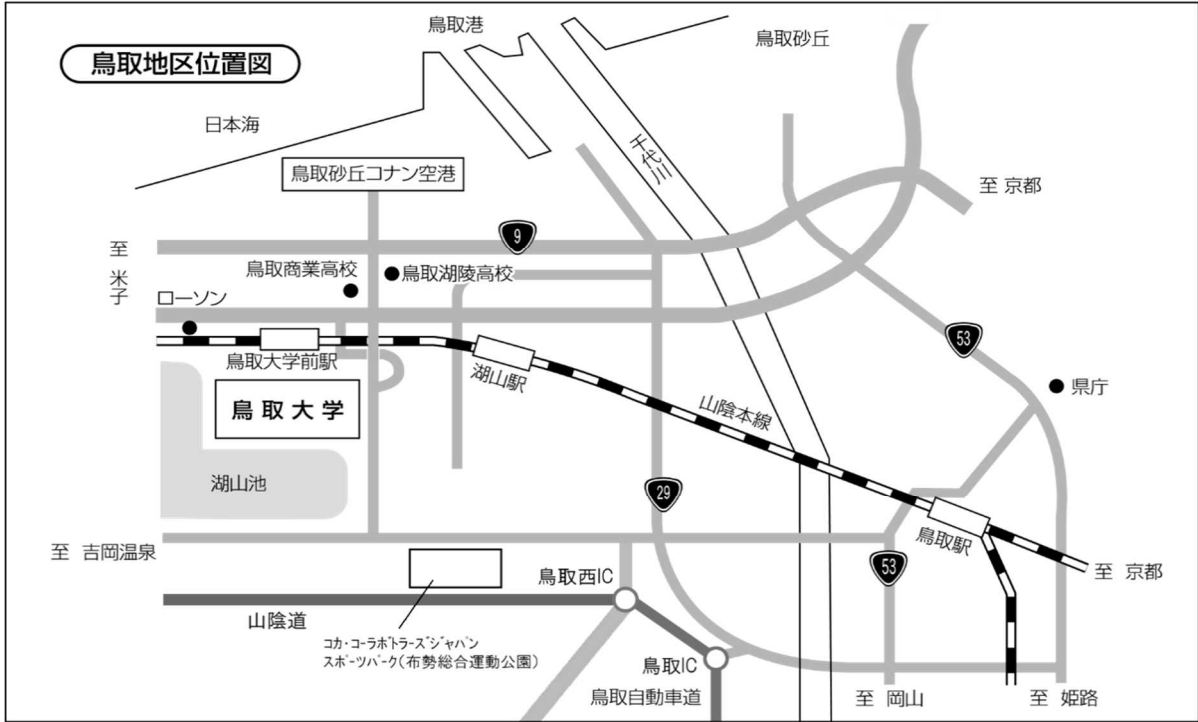
15. 参考資料

(1) 第2次選考試験場案内 (地域学部, 工学部, 農学部)

① 試験会場への案内

- JR 鳥取大学前駅で下車すぐ ● 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約5分, 徒歩約30分
- JR 鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し, 「鳥大」下車 (所要時間約30分)

② 位置図及び配置図



(2) 入学に必要な学部別納入経費（予定）

入学にあたっては入学料・授業料のほか、以下の経費が必要となりますのでご確認ください。
なお、納入方法等については別途お知らせします。

学 部	事 項	金 額
地域学部 62,750 円	TOEIC 受験料 ※	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	助成会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	同窓会費	終身会費 15,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円
工学部 47,750 円	TOEIC 受験料 ※	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	後援会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円
農学部 94,110 円	TOEIC 受験料 ※	3 回分 9,450 円
	学生教育研究災害傷害保険料	4 年分 3,300 円
	学研災付帯賠償責任保険料	4 年分 1,360 円
	後援会費	4 年分 16,000 円
	同窓会入会金	5,000 円
	同窓会費	終身会費 45,000 円
	学生活動支援会費	4 年分 4,000 円
	体育会会費	入会金 10,000 円

※ 本学では英語教育の一貫として、国際コミュニケーション英語能力テスト [TOEIC (Test of English for International Communication)] の受験を義務化しています。このための受験料を入学の際に納入していただきます。

(お問い合わせ先：学生部教育支援課教務企画係 TEL 0857-31-6773)

(3) ノート型パソコンの必携について

○ノート型パソコン必携のお願い

情報化が急速な進化を遂げている現代社会において、専門分野の知識のみならず、高度な情報処理能力や、情報セキュリティ能力の備わった優秀な人材を育成することが不可欠であるため、新入生全員にノート型パソコンを必携していただいています。

ノート型パソコンは、情報教育や英語教育、専門科目等の授業において使用するほか、講義レポートの作成や提出、修学上必要となる履修登録や自己の成績確認、授業料免除申請及び奨学金貸与の申込みなど、様々な用途で幅広く活用することになります。

つきましては、ご入学に際して保護者の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、本学における教育方針等をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

※ご準備いただくパソコンの性能等の情報は2月下旬にお知らせする予定です。

○経済的事情によりノート型パソコンの準備が困難な方へ

本学では、経済的事情によりノート型パソコンを準備することが困難な方に対する措置として、大学所有のノート型パソコンを授業時間等に限り貸し出します。

※詳細は、2月下旬にお知らせする予定です。

※ ノート型パソコン必携に関する問い合わせ先

学生部教育支援課教務支援係 (TEL (0857) 31-6774)

令和3年度 鳥取大学総合型選抜志望理由書

氏名	
<p>志望理由（学科・コースを志望する理由を書いてください。例えば、学びたい学問分野やテーマ、そのように考えるに至ったきっかけと経緯、本学を選ぶ理由等、自分自身の言葉で文章にまとめてください。）</p>	

※必ず志願者本人が黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。

※不足する場合はこのページを追加印刷して記入しても構いません。※追加印刷は1枚まで

氏名	
<p>1. 自己推薦（部活動，生徒会活動，委員会活動，学業，研究活動，ボランティア活動，地域での活動，留学等の中で，あなたが最も力を入れて取り組んできたことについて，目標や成果獲得に向けた取り組み過程を記述しながら，自己を推薦する文章にまとめてください。）</p>	

※必ず志願者本人が黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。

※不足する場合はこのページを追加印刷して記入しても構いません。※追加印刷は1枚まで

氏名	
<p>2. 資格・検定（自己推薦の内容や学業に関連する資格・検定があれば記入してください。）</p> <p>なお、英語の検定（英検，GTEC，TOEIC など）については，検定を記入のうえ，合格証の写し又はスコア証明書の写しを同封してください。その他の資格・検定については同封の必要はありません。</p> <p>記入する資格・検定がない場合は，自己推薦書（No.2）を提出する必要はありません。また，提出がない場合は，資格・検定がないものとして扱います。</p>	

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町^{こやまちょう}南4丁目101番地

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページアドレス <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <https://daigakujc.jp/toridai/>

